

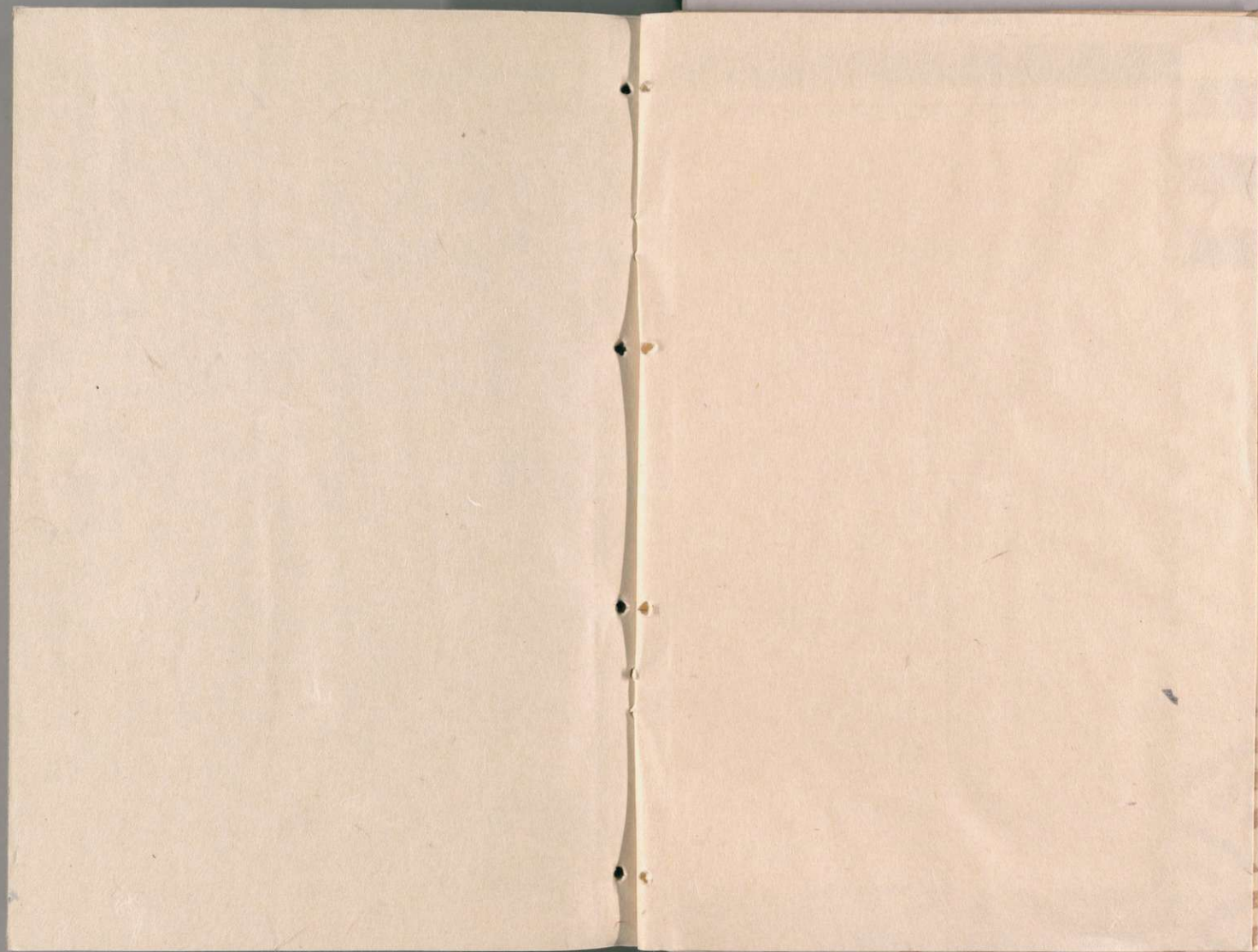
評定所書留帳
三

809
56



国立国会図書館 タイトル『評定所書留帳 3巻』 請求記号 809-56

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『評定所書留帳 3巻』 請求記号 809-56

ガラス使用

評定所書留

二ノ百二拾五
第八棚



評定所書留帳三

三冊之内



古乃公堂記

天保七年六月廿五日

出役

中国郵船
徳田屋

勅諭新田用達

徳田屋新田用達

徳田屋新田用達

田新田用達

田新田用達

田新田用達

田新田用達

石出市刀多光軍

井上河内守

石出市邊地監成

石出市邊地監成

石出市邊地監成

石出市邊地監成

石出市邊地監成

石出市邊地監成

中
二月十日
改年

松平後夜書以新市

徳分少多金銀部

山良徳馬車村

永宗

重物

日八年
申之月改年

日

申之月
申之月

申之月改年

松平安藏書以新市

徳分少多金銀部

山良徳馬車村

永宗

重物

日八年

申之月改年

申之月
申之月

松平安藏書以新市

徳分少多金銀部

山良徳馬車村

二月之通事

但望天下太平
兄弟終生
兄弟終生

三原七甲年

二月廿日

中

中国公使

仙野十郎

永村

中

中

仙野十郎

仙野十郎

井上

長谷川

中

仙野十郎

仙野十郎

年々いふなりけり
人々いふなりけり
いふなりけり
いふなりけり

あつていふなりけり

いふなりけり
いふなりけり
いふなりけり
いふなりけり

いふなりけり

お別江へ

上へ

いふなりけり

いふなりけり
いふなりけり
いふなりけり
いふなりけり

と保七のふりしり

佐之岡重史

中村次郎八

男

秋山久我

Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through from the reverse side.

天保七年三月十日
由持信國出陣時の落名と覺

一 山方より来りて方武人

後野常藏
佐々健三郎

一 日向書同公

三人

但向方より書同公より来り

一 向方より来りて方武人

松浦重三郎

一 出陣時の落名

佐々人

一 五郎控便出陣方武人

中田伴之助
山田重三郎

一 同右後何の双方

四人
計人

一 同前何の双方

右記を同前何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 同前何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の

一 出の何の双方に就て創るもの故に同前何の
同前何の双方に就て創るもの故に同前何の

おとす進交授をうけあふるに及ぶを以て元忠
をいふに上極り極あふる例に及ぶといふ事なき事
但諸所を字に同くおとす事

一 清書は序初をいふに清なるをいふに及ぶ事なき事
右に通個收人然るを清書に及ぶ事なき事
一 大徳寺に清書に及ぶ事なき事
一 控便方と組とをいふに及ぶ事なき事
一 同方と或人控便方とをいふに及ぶ事なき事
一 車と上極とをいふに及ぶ事なき事
一 附所と及ぶ事なき事

一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事

一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事
一 此花岡村に及ぶ事なき事

此花岡村
少自月
今川平他
は花の
六人

一 此紙は、
一 諸書を
一 諸書を

一 佐佐木のふたをとり返す等

弘治九年

松浦之扇

八

傳後播磨子也乃能修之乃
修之乃字之修乃云云
乃修乃

松年周防古家來

松園居士詩集卷之五

楊子立序

在公在公
 入身
 有書
 六
 在
 但
 中

一 八景雅也。待友極厚。其氣多於人。又主福村郷の預元
下より留候し。後ハ浮雲寺に集ると云ふ故に候なり。

一 楊太左衛門大膳等ものをも、東江院同封方より國府へ來

是年庚播磨寺日山所定之役
入寺之役寺名是永年

是字也

[illegible]

夜宿江陰

恒貞

稿

定七

江之浦東河

友之節

書堂

在文士教行身々々語々讀書官形教道遠公及
同公と長谷倒之爲る排字

右新刊所

現代根聲

晉書

張元正

三寶所

利
便

晉

[illegible]

石翁
北条甫
三才
三才

皇朝承平盛會中付八卷大紙而大國所屬事書

武家方之要
押込の外
山本

松岡周防忠家及子
居方贈一歩解用
之七解三一一

在商之臣武成

今川常武侯新會藏板書之腰少自封及
月心者諸古倒之誤字乃致言形等

一 孫利家よりと白洲源の御序を以て他國を以て方々傳ふ所也
出汝汝令便之謂也故因ふを以て之を傳ふ所也
一 石橋寺よりと入道官を以て之を傳ふ所也

大德堂

列在
奇珍

一 閩縣古溪寺度
一 封后廟寺度

一 留留中七度
 一 物新彼古七度
 一 四三行
 一 算并仔細七度
 一 本分能七度
 一 正動定七度
 一 肉分能七度
 一 社尾山能七度
 一 算分
 一 本分能七度
 一 正動定七度

五
 一 留留中七度
 一 物新彼古七度
 一 四三行
 一 算并仔細七度
 一 本分能七度
 一 正動定七度
 一 肉分能七度
 一 社尾山能七度
 一 算分
 一 本分能七度
 一 正動定七度



